

## ▶ 令和8年度 会費の協力と会員加入のお願い

社会福祉協議会では、区民の皆様からご支援いただく会費を地域の福祉活動に活用いたします。今年度も、多くの皆様からのご参加・ご協力をお願いいたします。

一般会費	1世帯 <b>400円</b>
特別会費	福祉施設・福祉団体 <b>2,000円</b>
賛助会員	企業 <b>5,000円</b> (一口) 団体 <b>2,000円</b> (一口)



令和7年度の  
実績(中央区)

一般会費の総額 12,157,498円(462件)  
賛助会費の総額 1,002,500円(142件)

## 善意のご寄付ありがとうございます (令和7年4月～令和8年3月)

新潟市内や中央区内の地域福祉の推進のために大切に活用いたします。みなさんのあたたかい気持ちをつなぎます。

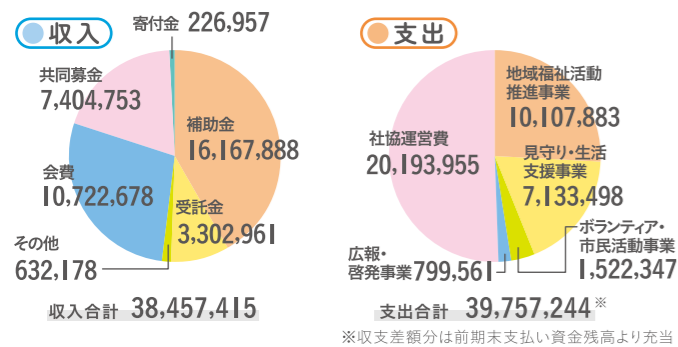


- 大林道路株式会社北信越支店 (R6.10)
- 北陸自動車道R4新潟管内舗装補修工事 様 米 450kg
- あなたといっしょに実行委員会 様 5,720円
- 上之山 剛 様 100,000円
- 寄居中学校第二期同期会 様 11,475円
- 新潟明訓高等学校第7回卒業2組クラス会 様 5,000円
- 八千代1丁目自治会 様 1,000,000円
- (株)中元組新潟支店 様 非常時用排便収納袋 75個  
災害用アルミ蒸着毛布 10枚
- (宗)真如苑新潟支部 様 200,000円
- 中央公民館文化祭実行委員会 様 535,873円
- 下越南地区郵便局長会・なでしこの会 様 食品 64個/日用品 22個
- 新潟市教育相談センターぐみの木教室 様 3,000円

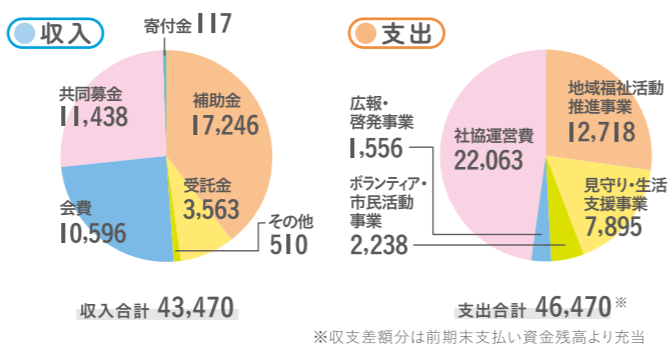
## ▶ 前年度収支決算及び本年度収支予算・事業計画

新潟市社協福祉ビジョン2021(2021～2026) 支えあい、ともに笑顔で暮らすまち「にいがた」

### 令和7年度決算 (単位:円)



### 令和8年度予算 (単位:千円)



- 令和8年度 重点目標
- 01▶ 地域福祉活動計画の推進
  - 02▶ ボランティア・市民活動の育成
  - 03▶ 区社協運営の充実・強化

# はぴふる

HAPIFURU【2026.06】



## MOKUJI

### P.2-3 ▶ 特集 居場所の魅力

- 子育てサロン(えほんでウフフ)
- 地域の茶の間(関屋の茶の間、夜のお茶の間)
- 夏休みこども
- ヒューマンライブラリーの魅力

### P.4 ▶ 会費協力と会員加入のお願い

- 寄付のお礼
- 中央区社協事業報告・予算

## ピックアップ

### 居場所の魅力

#### 子育てサロン えほんでウフフ

未就学児と保護者を対象に絵本の読み聞かせが特色の子育てサロンが開催されています。

▶ 詳しくは2ページへ



編集・発行

## 社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 中央区社会福祉協議会

ちゅうおうくしゃかいふくしきょうぎかい  
〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町909番地 Co-C.G. (コシジ) 3階  
MAIL: chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp  
TEL: 025-210-8720 FAX: 025-210-8722  
中央区ボランティア・市民活動センター  
TEL: 025-210-8730 FAX: 025-210-8722  
MAIL: va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

新潟市中央区  
社会福祉協議会  
Instagram



お車で  
お越しの場合は  
古町・本町提携  
駐車場をご利用ください



ホームページ  
でも最新情報  
を更新中です



中央区  
社会福祉協議会  
だより

## ▶ 居場所の魅力 私もあなたも、誰かの元気の源に。

誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」の存在があらためて注目されています。

「居場所」は、ただ集まる場所ではなく、人と人がつながり、安心して過ごし、お互いを支え合うきっかけとなる大切な場です。こどもから高齢者まで、世代を超えた交流が生まれ、地域の温かさや支え合いの輪を育んでいます。今回は、そんな居場所を3か所ご紹介します！

### Pick UP! 1 「えほんでウフフ」 絵本と工作で、ママもパパもホッとできる居場所に。

絵本の読み聞かせが特色の子育てサロンです。『子育てをがんばる親がホッとできる居場所を作りたい』という想いから立ち上がりました。

平成27年に始まり、これまで延べ500組以上の親子が参加してきました。

季節に合わせたお話や心温まるお話など、10冊ほどの絵本の読み聞かせと、参加者同士で会話しながらの工作活動などを行っています。

代表を務める中村さんですが、ご自身の育児を振り返ると、「怒ってばかりの母親でした。」と苦笑い。自己嫌悪する日々の中で、ある絵本が我が子へ素直に愛情を伝えるきっかけをくれたそうです。親子の絆を結んでくれた絵本の力を実感したことから、読み聞かせの時間を通して、絵本の良さや楽しさを伝えることも大切にしています。

そして、子育て中のママやパパの気持ちを軽くする声かけや行動をとる人が、ひとりでも多い世の中になってほしいと願って、活動されています。



子育てサロン「えほんでウフフ」  
開催日：毎月第4日曜日（8月休み）10:00～11:40  
開催場所：京王自治会館  
参加費：200円 ※要申込（5日前まで）

### 子育てサロンとは？

未就学児の保護者が情報交換・気分転換できる居場所。

中村さんは絵本専門士・  
絵本講師の資格をお持ちです！



「一つことに集中したのは久しぶり！」  
ママからも好評な、  
毎回工夫を凝らした  
こだわりの作品！

一緒に活動してくれる  
ボランティアを募集しています！  
〈お問い合わせ ehon.de.ufufu@gmail.com〉

### Pick UP! 2 笑顔あふれる地域の居場所「関屋の茶の間」

関屋の茶の間は、平成29年にスタートした地域の居場所です。はじめは約10名でのスタートでしたが、口コミで参加者が増え、現在では20名を超える方々が集まっています。

参加者は70代から90代までと幅広く、月に2回、体操や踊り、カラオケなどを楽しみながら、元気に交流を深めています。小学生が来て参加してくれることもあります。会場は笑い声があふれ、にぎやかなひとときを過ごされています。

参加者からは「ここに来るのが楽しみ」との声が多く聞かれ、関屋の茶の間は地域に笑顔を広げる大切な居場所となっています。



代表 小林 キミさん  
自分も楽しいから続けられる。皆さんから元気をもらえる、なくてはならない大切な場所。

関屋の茶の間  
開催日：毎月第2、第4日曜日 10:00～12:00  
開催場所：関屋大川前四区自治会館  
参加費：100円



長生きサンバを踊ります  
小学生にも好評♪

### 【地域の茶の間とは】

孤独感の解消と地域づくりを目的に、子どもからお年寄りまで、障害の有無を問わず、地域の誰もが気軽に寄り合える場として各地で開催されています。



### Pick UP! 3 夜のひとときを、ちょっと特別に。 ほっとできる場「夜のお茶の間」

「夜のお茶の間」は令和7年4月にスタートし、この春に1周年を迎えました。「居場所をたくさん作ることで、つながれる人が増えるんです」と話すのは、夜のお茶の間の運営にも関わる小林さん。

参加者の方からはこんな声も。

「知ってる人ばかりだよ。あなたとも今、知り合いになったでしょ。」  
これからの目標は、地域を支える新たな担い手を見つけていくこと。

人と人がゆるやかにつながる「夜のお茶の間」は、地域の中で飾らずほっとできる、あたたかく大切な居場所になっています。



ポテトサラダが人気！

夜のお茶の間  
開催日：毎月第4金曜日  
18:00～20:00  
開催場所：白新コミュニティハウス  
参加費：500円

## ▶ 夏休みこどもヒューマンライブラリーの魅力

福祉教育の本質は「ともに生きる力を育む」ことにあります。当会では主に小学校からの依頼を受け、講義や体験、ワークなどを通じて「老い」や「障がい」について共に探求する「福祉の授業」を展開してきました。

しかし、従来の授業後の児童の感想には「目が見えて（耳が聞こえて）よかった」「出会ったら何かしてあげたい」といったものがあがる事が多くあります。私たちが願うのは、単なる同情を誘う「貧困的な福祉観」を育てることではありません。高齢の方や障がいのある方が直面する困難や生活の工夫を知り、誰もが暮らしやすい社会にするために環境をどう整えたらよいかを主体的に考えてほしいのです。

そこで取り入れたのが、対話型ワークショップ「ヒューマンライブラリー（人間図書館）」です。語り手を「本」に見立て、数人の聞き手が様々なリアルストーリーを聞くことができます。

実際に実施してみると、子どもたちはとても生き活きと対話をしていました。感想も「かわいそう」ではなく、「こういう生き方がある」という発見に繋がったことで、この取り組みの意義を再確認できました。引率の保護者からも「子どものこんな表情は初めて見た」といった反応があり、子どもの変化を通して、親の価値観の変化にも繋がるという期待を抱かせるものとなりました。

### 【夏休みこどもヒューマンライブラリー】

	複数	1人
語り手	複数	1人
イメージ	<p>① 話を聞く（10分） ② 語り合い（10分） ※児童1人が3人の語り手と①②を行う。</p>	<p>① 話を聞く（35分） ② 質疑応答（10分） ※45分授業の場合</p>
特徴	少人数かつ双方向であるため、深く理解できる	一度に多くの児童が参加できるが一方向的になりがち

今年度も8月2日（日）に開催します！

対象は小学3年生～6年生。いろいろな「本」と楽しいおしゃべりをしに来ませんか？

詳しくは当会HPにてお知らせします♪

